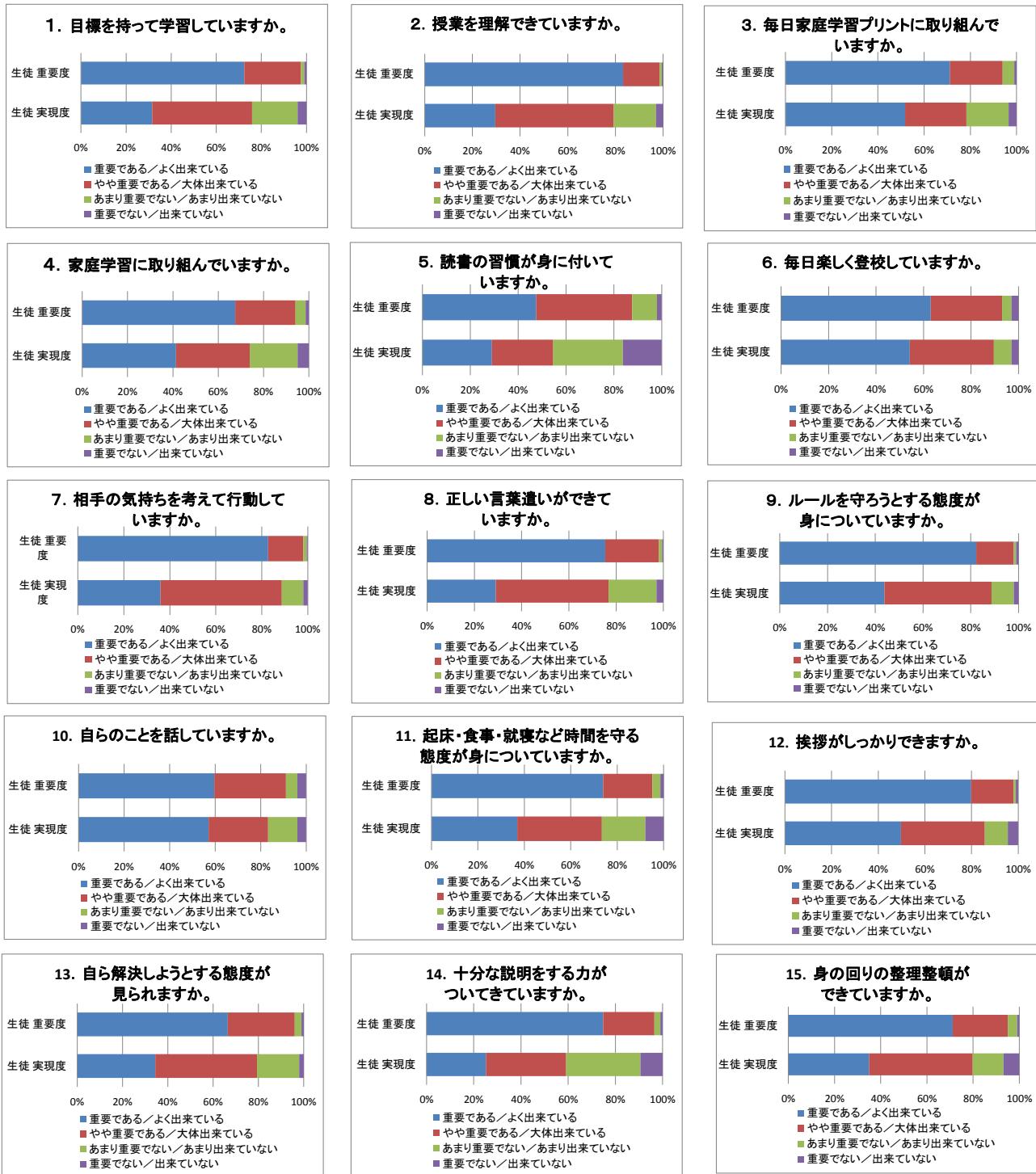


# 平成30年度前期学校評価(生徒)



今回のアンケートは、重要度と実現度について回答してもらいました。その差が大きいほど課題であるとみることができるとともに、各項目ごとの状況から成果と課題を捉えて、今後の生活に活かしてください。学校の取組にも活かしていきます。

どの項目についても重要度は高く認識しており、そうした意識をしっかりと持てていることはとても大切なことだと思います。当然ですが、気持ちや意識がなければ、行動にはつながりません。そうしたなかでは、目標を持った学習や読書について意識の低い人が一定いることは気がかりです。読書については、これまでの全国学力・学習状況調査の結果から、読書時間と学力(点数)の関連性が分析されています。何時間も毎日読むことは求めませんが、30分程度の読書習慣のついている人のグループが、高い点数を取っていることは参考にしてください。

学習に関しては、学校からの毎日の家庭学習課題は必ずやる習慣をつけましょう。各教科からも課題がでますが、毎日、一定の時間、家庭で自学自習をすることは中学生の生活として確立しなければなりません。家庭学習の習慣がついていない、時間がかなり少ないという課題は、学力向上のために必ず克服しなければなりません。毎日の授業と家庭学習の積み重ねの結果として力がつきます。

正しい言葉遣いができたり説明する力を高めるためには、日常のあらゆる場面で、常に意識することが大切です。読書の習慣も影響します。どのような力も一朝一夕に身につくものではありませんから、日々の生活を送るなかで、自分の良さや課題を意識しておくこと、そして何を目指しているかを見つめる事が必要だと考えます。目標なき者に成功なしです。